

NO	説明回	該当する「評価の基準」				項目	不十分:	もう一息	十分	すばらしい	自己評価	自己評価コメント	記述箇所	講師評価	講師コメント
		1	2	3	4										
1	9・10	○	○	○		提案するプロジェクトの概要・コンセプト	提案するプロジェクトの概要・コンセプトが記述されていない。	提案するプロジェクトの概要・コンセプトが記述されているが不明確である。	提案するプロジェクトの概要・コンセプトが明確に記述されている。	提案するプロジェクトの概要・コンセプトが端的に記述され、人事や社内のニーズ・ウォンツを満たし、かつ実現可能性が高いことが読み手に伝わる。	十分	概要・コンセプトが明確に記述している	P.1 1. 提案するプロジェクトの概要・コンセプト		
2	—	○	○	○		計画の方向性	計画の方向性が記述されていない。	計画の方向性が記述されているが不明確である。	計画の方向性が明確に記述されている。	計画の方向性が明確に記述され、「プロジェクトの概要・コンセプト」が社内のニーズ・ウォンツを満たし、かつ実現可能性が高いことを裏付けている。	十分	計画の方向性を4点明確に示している	P.2 2. 計画の方向性		
3	—	○	○	○		プロジェクトの成果目標(アウトプット)	プロジェクトの成果目標について記述が無い。	プロジェクトの成果目標について記述があるが測定が困難であるか、プロジェクトの概要・コンセプトと不整合である。	概要・コンセプトと整合したプロジェクトの成果目標について測定可能な形で記述されている。	概要・コンセプトと整合した成果目標について測定可能な形で記述され、測定方法についても具体的に述べられている。	十分	概要・コンセプトと整合したプロジェクトの成果目標について定量的に測定を可能にしている	p.2 3. プロジェクトの成果目標		
4	—	○	○	○		eラーニングの学習目標	学習目標が記述されていない。	学習目標が記述されているが、ID的に問題がある。	学習目標についてIDにのっとった記述がされている。	学習目標についてIDにのっとった記述がされている上、その達成度合いの測定方法についても具体的に述べられている。	十分	行動目標「●●できる」、評価条件、評価基準の3点で記載している	P.3 4. eラーニングの学習目標		
5	—	○	○	○		新入社員導入研修への影響	新入社員導入研修への影響が記載されていない。	新入社員導入研修への影響が記載されているが、eラーニング導入に伴い当然予想される影響が記載されていない。	新入社員導入研修への影響が記載されている。	新入社員導入研修そのものの改善提言となっている	十分	新入社員導入研修への影響が記載されているがステークホルダーごとには記述できていない	P.3 5. eラーニングを導入する場合、新入社員導入研修への影響		
6	8・9	○				ニーズ・ウォンツの分析	ケースに記載されている社内のニーズ・ウォンツについて全く言及していない。	ケースに記載されている人事部の要望事項について全て言及している。	ケースに記載されている募集要項本文やMさんの話などから内部環境を考慮し、ニーズやウォンツを分析している。	ケースに記載されている募集要項本文やMさんの話などから内部環境に加え、外部環境(業界動向など)も考慮して社内のニーズやウォンツを分析している。	十分	内部環境に関しては記載しているが外部環境までは分析しきれていない	P.3-5 6. X社からの要望やそれ以外の要因の検討結果(分析・対応)		
7	8・9	○	○	○		ニーズ・ウォンツへの対応策	ケースに記載された社内のニーズ・ウォンツに対して全く対応策を示していない。	ケースに記載されたニーズ・ウォンツの一部にしか対応策を示していない。	ケースに記載されたニーズ・ウォンツの全てに対応策を示している。	ケースに記載されたニーズ・ウォンツの全てに対応策または建設的批判を示している。	十分	対応策はすべて記載している	p.3-5 6. X社からの要望やそれ以外の要因の検討結果(分析・対応)		
8	8・9	○				複数の解決策を比較検討	複数の解決策を比較検討していない。	複数の選択肢を比較検討しているが、選ばれた解決策に問題(ニーズ・ウォンツを満たしていない等)がある。	複数の選択肢を比較検討し、その中で(消去法的に)問題が無い解決策を提示している。	複数の選択肢を比較検討し、その中で問題が無い解決策を複数提示した上で、ベストと思われるものを根拠を述べて推奨している。	十分	複数の選択肢を比較検討し、その中で問題が無い解決策を複数提示しているが根拠を述べて推奨まではできていない	p.6-7 8. 各種選択肢との比較		
9	10			○		仕様書	仕様書が添付されていない。	仕様書が添付されているが不備項目(記載もれ、または記載内容の誤り)がある。	仕様書が添付され、不備項目(記載もれ、または記載内容の誤り)が無い。	仕様書が添付され、不備項目(記載もれ、または記載内容の誤り)が無い。	十分	仕様書が添付され、不備項目が無い。	p.11-16 13. 仕様書(提示されている雛形<第10回コンテンツより>)を使用)		
10	—	○	○	○		学習の評価計画	評価方法が記述されていない。	評価方法が記述されているが、ID的に問題がある。	評価計画についてIDにのっとった記述がされている。	評価計画についてIDにのっとった記述がされ、評価結果をどう活かすかについても言及している。	十分	評価計画は記載しているが評価結果をどう活かすかに関しては十分に触れられていない	p.8 9. 評価計画(学習目標評価/プロジェクト成果目標評価)		
11	13			○		プロジェクトの評価計画	評価方法が記述されていない。	評価方法が記述されているが、曖昧、またはプロジェクトの目標と不整合な点がある。	評価計画について明確に記述され、プロジェクト目標と整合している。	評価計画について明確に記述され、プロジェクト目標と整合している上、評価が容易にできるような工夫が施されている。	十分	評価計画について明確に記述され、プロジェクト目標と整合した形で記載している	p.2 2. 計画の方向性		
12	11	○	○	○		画面遷移図	画面遷移図が添付されていない。	画面遷移図が添付されているが、学習者がどのような操作を経て学習していくか、LMSにどのような機能が必要かが不明である。	画面遷移図が添付され、学習者がどのような操作を経て学習していくか、LMSにどのような機能が必要かが示されている。	画面遷移図が添付され、学習者がどのような操作を経て学習していくか、LMSにどのような機能が必要かが一目で分かるようになっている。	十分	、学習者がどのような操作を経て学習していくか、LMSにどのような機能が必要かが示されている。	別添資料		
13	12	○		○		WBS	WBSの添付がない。	WBSが添付されているが、作業項目の洩れや重複が伺えたり、エンドプロダクトが不明な状態である。	エンドプロダクトが明かで作業項目の洩れや重複がないWBSが添付されていて、他の書類とも整合している。	エンドプロダクトが明かで作業項目の洩れや重複がないWBSが添付されていて、他の書類とも整合している。また、他の書類と照合しやすくなるための工夫がしてある。	十分	エンドプロダクトが明かで作業項目の洩れや重複がないWBSが添付されていて、他の書類とも整合している。	別添資料		
14	12			○		スケジュール	スケジュールが添付されていない。	スケジュールは添付されているが、現実的ではないか、要求(仕様)を満たしていない。	スケジュールが添付され、現実的かつ要求(仕様)を満たしている。	スケジュールは図表で表されていて、現実的かつ要求(仕様)を満たしている上、資源の割当や節目(マイルストーン)となる重要な段階が明かであり、遅延等の問題発生時の検出が容易である。	十分	スケジュールが添付しているがPMアサインの日程次第では10月末日リリースはスケジュールがタイトな印象がある	別添資料		
15	12			○		資源見積もり	資源見積もりが添付されていない。	資源見積もりが添付されているが、現実的ではないか、要求(仕様)を満たしていない。	現実的かつ要求(仕様)を満たす資源見積もりが添付されている。	現実的かつ要求(仕様)を満たす資源見積もりに加え、より良い成果を得るための資源の追加投入について提言されている。	十分	現実的かつ要求(仕様)を満たす資源見積もりが添付されている。	別添資料		
16	12			○		実施体制	実施体制が添付されていない。	実施体制が添付されているが、現実的ではないか、要求(仕様)を満たしていない。	現実的かつ要求(仕様)を満たしている実施体制が添付されている。	現実的かつ要求(仕様)を満たしている実施体制が添付されている上、より良い成果を得るための体制(人員の追加投入など)についても提言されている。	十分	現実的かつ要求(仕様)を満たしている実施体制が添付されている上、より良い成果を得るための体制(人員の追加投入など)についても提言されている。	別添資料		
17	13		○			将来的な展望(ビジョン)	将来的な展望(ビジョン)を述べていない。	将来的な展望(ビジョン)が述べられているが、今回の提案以降の課題等については述べられていない。	将来的な展望(ビジョン)と、その実現に向けた今回の提案以降の課題について述べられている。	将来的な展望(ビジョン)と、その実現に向けた今回の提案以降の課題について述べられて、それが人事や会社にとって望ましいものであることが十分な論拠をもって説明されている。	十分	将来的な展望(ビジョン)と、その実現に向けた今回の提案以降の課題について述べられている。	p.9 11. 将来の展望		
18	----				○	仕様	ケースに記述された仕様を満たしていない部分がつつ以上ある。	ケースに記述された仕様を満たしていないものがあるが1つある。	ケースに記述された仕様を完全に満たしている	-----	十分	ケースに記述された仕様を完全に満たしている	p.11-16 13. 仕様書(提示されている雛形<第10回コンテンツより>)を使用)		
19	13			○		提案に伴うリスクの洗い出し・分析(対応策の策定)	提案にともなうリスクについて記述されていない	提案にともなうリスクについて提示しているが、その軽減・対応については提示していない。	提案にともなうリスクを1〜3つ指摘し、その対応策について提示している。	提案にともなうリスクを4つ以上指摘し、その対応策について提示している。	十分	提案にともなうリスク3つ指摘し、その対応策について提示している。	p.9 10. 想定されるリスク		
20	13	○	○			解決策の理論的根拠	理論的根拠を示していない。	理論的根拠を示しているが解決策が選ばれた理由としては不適切。	解決策に対して妥当な理論的根拠を示している。	理論的根拠は、解決策を強く正当化(理由付け)している。	十分	解決策に対して妥当な理論的根拠「AROS」を示している。	p.9 12. 提案の理論的背景		
21	13			○		提案範囲(スコープ)	提案範囲(スコープ)が述べられていない。	提案範囲(スコープ)が述べられるが、曖昧である。	提案範囲(スコープ)が明記されている。	提案範囲を明記した上、この提案を活かすためのその後の検討課題についても示している。	十分	評価計画においてスコープ記載している	p.8 9. 評価計画(学習目標評価/プロジェクト成果目標評価)		
22	----	○				内容	提案先の納得が全く得られないであろう内容。	提案先に採用されるのに、条件がつか、修正を求められるであろう内容。	提案先に「要求を満たすもの」として採用されるであろう内容。	提案先に「要求を満たす以上のもの」として採用されるであろう内容。	十分	クライアントのニーズを満たす内容になっている	(「すばらしい」と自己評価した場合、「要求を満たす以上のもの」が何かをアピールしてください)		
23	----	○				文章	言わんとしていることが分からない文章で構成されている。	言わんとしていることが分かるが、冗長である等の理由で読みにくい。	簡潔に書かれていて、言わんとしていることがよく分かる。	文章表現に優れていて、読み手をひきつける。	十分	PMとして意図している内容が伝わる開発計画書になっている			

このルーブリックに関するコメントをお願いします(任意)

ルーブリックに基づいてセルフアセスメントを行う事により、次に目録べき改善点が明確にすることができた。左端の「該当する(評価の基準)」の欄の意味するところが良く理解できなかった。